

Hanako MIYAMOTO Solo Exhibition

The Everyday Life of Any Ordinary Home



宮本華子個展

「在る家の日常」

2025.3.13 thu. – 4.13 sun.

小松楼まちづくり交流館（国登録有形文化財）

開館時間：9:00 ～ 17:00

休館日：月曜日

入館料：無料

主催者名 NPO 新居まちネット 問合せ先 TEL/FAX 053-594-0540 E-mail info-m@a-machinet.org



宮本華子個展 「在る家の日常」



2023年に秋、湖西市新居町にMAW旅人で滞在して以降、新居町に訪れる度に、土地や人、そして小松楼の建物自体の魅力に夢中になっています。近年、両親よりも長く一緒に暮らした祖父母を家から見送りました。彼らの老いていく姿と終わりは、私にはとても悲しく、同時にとても美しく見えました。誰にでも訪れる死が特別な事象ではない事実と、思い出が強い存在の死に痛んでしまう自分自身の感情を、包含した作品表現を目指し展開を試みています。個展タイトルである「在る家の日常」は、「何処にでもある家の出来事」という意味を込めたもので、祖母が89歳の時のヌードを描いた油彩画と、その対となる絵画を基軸に、写真・映像・オブジェ等を用いて、明治末期からこの町に在る小松楼の2階の和室を中心としたインスタレーション作品として提示します。同時期開催のVOCA2025展では、VOCA賞をとった同タイトル作品が東京、上野の森美術館に展示されます。2つの「在る家の日常」を多くの方々にご高覧頂けたら幸いです。



宮本華子

1987年熊本出身

2012年女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻洋画 研究領域修了

身近でありながら、相容れない他者である「家族」と、向き合うために作品を制作する。近年は、「家」の要素を素材としたインスタレーション制作に加えて、熊本の地元・荒尾にてマイクロレジデンス「AIR motomoto」を開き、国内外のアーティストの招聘も行う。レジデンス運用期間は、熊本で生活している。

主な展覧会に 2019年個展「Was ich dir immer schon sagen wollte, aber nur dir nicht sagen kann」Bethanien room139 (ベルリン)、2020年個展「私はあなたにだけ言えない。」つなぎ美術館 (熊本)、2024年個展「在る家」大川市立清力美術館 (福岡)、2025年個展「HOME LIKE」第一生命ギャラリー (東京)、2020年VOCA展 2020上野の森美術館 (東京)、2021年「段々降りていく」熊本市現代美術館 (熊本)、2025年VOCA展 2025上野の森美術館 (東京)

同時期開催

VOCA展 2025 現代美術の展望 新しい平面の作家たち

2025年3月15日(土)～3月30日(日) 10:00～17:00

会期中無休 ※最終日は15:00まで/入館は閉館の30分前まで

上野の森美術館



小松楼

「旧小松楼本館」は、明治末期から昭和20年代前半まで、東海道の宿場町、静岡県湖西市新居町の関所周辺の歓楽街にあった芸妓置屋の1軒です。平成21年に「国登録文化財」に登録され、翌年9月より湖西市の「小松楼まちづくり交流館」として開館しました。NPO法人新居まちネットが湖西市の指定管理者として運営しています。1階お座敷は、月替りのギャラリー会場として、地域の文化・情報の発信場所として活用しています。2階お座敷は、べんがら壁、大正ガラス障子、襖、火鉢、三味線・太鼓類、そして当時の芸妓たちの写真など常設展示をしております。



小松楼まちづくり交流館

〒431-0302 静岡県湖西市新居町新居 1190-3

TEL053-594-0540 (9:00～17:00) 月曜休館

アクセス

〔JR〕東海道線新居町駅から西へ1km

〔お車〕新居関所南側の第2駐車場及び東側の駐車場をご利用下さい。

